

Peace Now! OKINAWA 2017

開催報告



平和と社会的課題委員会
Peace Now! OKINAWA 2017 実行委員長 清水 竜

—開催概要—

開催日程： 2017年9月4日（月）～7日（木）
開催場所： 沖縄県内／沖縄国際ユースホステル
獲得目標： ① Peace Now! OKINAWA をきっかけに平和について考える
② 様々な視点・自分なりの視点で物事を考える
③ セミナーが終わった後も平和について考える

—参加概要—

7 ブロック **29** 大学生協 **85** 名の参加がありました！

参加会員一覧

◆北海道ブロック
北海道ブロック事務局
北海学園大学生協
札幌学院大学生協

◆東北ブロック
秋田大学生協
岩手大学生協
宮城大学生協

◆東京ブロック
一橋大学生協
東京インカレ（武蔵野大学）
明治学院大学生協
早稲田大学生協

◆東海ブロック
岐阜市立女子短期大学生協

◆関西北陸ブロック
関西北陸ブロック事務局
奈良教育大学生協
京都橘学園大学生協
立命館生協
龍谷大学生協
滋賀県立大学生協
阪南大学生協
大阪大学生協
兵庫県立大学生協
神戸市立工業専門学校生協
大阪樟蔭女子大学生協
近畿大学生協

◆中国・四国ブロック
愛媛大学生協
山口大学生協

◆九州ブロック
九州ブロック事務局
大分大学生協
熊本大学生協
九州国際大学生協
長崎県立大学佐世保校生協
長崎大学生協
西南女学院大学生協

大学生協連合会

...たくさんのご参加ありがとうございました！

一企画詳細一

1日目

平和祈念資料館、ギーザバンタガイド、学習会

1日目は、2日目以降の学びをより深いものとするために、沖縄戦から戦後の歩みまでの流れを大まかにつかむことを目標として企画しました。平和祈念資料館では様々な資料や証言から当時の様子をイメージしました。ギーザバンタとは、慶座絶壁と書き、文字通り断崖絶壁です。沖縄戦の際はその崖から身を投げた人も多くいたということで、そこから見える綺麗な海も、戦時中はどのような想いでこの海を見ていたのだろうか、と考えると、また違ったように見えました。



▲ギーザの海



▲ギーザバンタのガイドをしている様子



▲開会式の様子



▲各地から持参した折鶴を奉納しました

2日目

フィールドワーク（辺野古・宮森小学校・北谷・嘉手納基地・沖縄国際大学・クリアゾーン・嘉数高台）

2日目は、戦後をテーマにフィールドワークを実施しました。基地の移設問題で話題となっている辺野古で、改めて基地を移設しようとしている経緯やそれによる影響について知りました。他の場所では、米軍機の事故によって多くの犠牲者を出した宮森小学校や、基地の跡地利用によって文化交流の場となっている北谷を訪れたり、実際に基地を目の当たりにしたりして、基地問題について深く考えることができました。



▲宮森小学校にある、事故の慰霊碑



▲基地内に沖縄県民の方のお墓があります



▲嘉手納基地の前でガイドをしている様子



▲北谷でアメリカのファストフードを食べています

3日目

フィールドワーク（首里城・戦争体験者の証言・アブチラガマ・平和の礎）、3地域共通企画

3日目は、戦中をテーマにフィールドワークを実施しました。毎年、参加者の声で強く印象に残っているとよく聞くのは、戦争体験者の方のお話と、ガマと呼ばれる沖縄の天然洞窟でのフィールドワークワークです。どちらも当時のことをリアルにイメージでき、参加者が戦争の恐ろしさを自分事として実感できるきっかけとなりました。平和の礎では、「恒久平和の希求と悲慘な戦争の教訓を正しく継承するとともに、平和学習の拠点とするため」に、日本軍の指揮官や米軍兵士の名前など、国籍・軍人・民間人などを問わず、全ての戦没者の氏名が刻まれています。そのような、平和の礎が伝えようとしているメッセージを受け止め、改めて平和の大切さを実感しました。夜には、広島・長崎でも行った「3地域共通企画」を実施しました。今年はヒバクシャ国際署名をテーマに、平和の実現のためには何が必要で、自分には何ができるのかワークを通して考えを深めました。



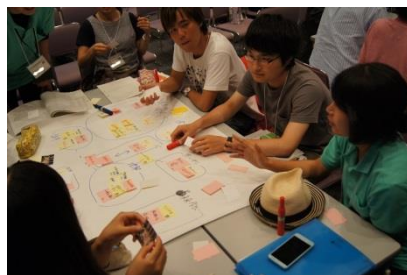
▲平和祈念資料館と平和の火



▲平和の礎



▲戦時中、白梅学徒隊の一員だった中山きくさん



▲3地域共通企画でのワークの様子

4日目

ごちゃまぜ感想交流、個人の時間、班内共有の時間

4日目は、このセミナーでの学びを振り返ったり、多くの人と感想交流をしたりしました。ごちゃまぜ感想交流では、班に限らず文字通りごちゃまぜで多くの人と自分が感じたことを話し合いました。また、自分の中でこのセミナーでの学びをまとめ、班内で共有し合いました。



▲ごちゃまぜ感想交流の様子その1



▲ごちゃまぜ感想交流の様子その2

その他

感想交流、次の日に向けた学習会、
フリーセッション、テーマ別学習会

セミナー中は、先ほど説明したもの以外にもコンテンツがありました。毎日、フィールドワークや学習会で感じたことを班内で感想交流したり、次の日に向けた事前の学習会や、参加者同士で自由に交流ができるフリーセッション、そしてもっと知りたい！という人のためのテーマ別学習会を実施したりしました！感想交流を通して、色々な視点で物事を捉える大切さを実感したり、フリーセッションで班内以外の参加者と交流し、より考えを深めることが出来たりしました。



▲フリーセッションの様子



▲テーマ別学習会の様子



▲次の日に向けた学習会の様子



▲班内での感想交流の様子

一感想文一

参加者の感想文をいくつかご紹介します。

72年前、この沖縄という地で起こってしまった出来事は容易には
想像しがたいが、自分もよく年と共に同じ人間がこの場所に存在し、
生きていたのだという実感が沸いた。そして、今ある「平和が1番戦争はいけぬ」
という常識は、戦後今までずっと平和を築こうとし続けてくると人々の平和のおかげと知った。

学習できる時間や、とても内容の濃いものでした。やはり「現地で
学ぶ」ということや自分で考えることに大きな意味をもたらすのだと思いました。
無関心→モヤモヤへと変わったことに気づいて、自分自身としてどのような
行動や学びをするのか？ということを考えていきたいです。

沖縄自体遠い存在だったので、そこでの戦争の歴史は考えてもいなかった。
今回参加して、実際に沖縄で「今」と「過去」を目で見て肌で感じる事ができ、私たちの
世代は戦争の記憶を、戦争体験者から直接戦争の話を聞けない世代に伝えていく責任が
あることを再認識した。これからは、平和に対する知識を増やして、考えて、話し合い
たいと思う。人生の中でも、本当に勉強になる、ためにやる4日間だった！

現地にいると、現地の人に直接意見がきけること、体験者のお話が
きけること同じ立場の人と意見交換ができること、意見を認めあえること。
この機会が与えられたこと、この4日間様々なことに平和を感じました。

一連絡事項一

◆事後の取り組みについて
今回のセミナーでの学びを、是非とも広めてほしいと思います。「理事会での報告」「学生委員会内での共有」「組合員への発信」などなど、できるところから取り組みましょう！

◆資料掲載について
セミナー当日に使用した資料は以下のURLからダウンロードできます。各地での共有などにご活用ください！
(<https://drive.google.com/drive/folders/1uqlE2UwA9qivJqFCKY-S0oN-JXxEHqX0?usp=sharing>)

ーピーなうスナツプー



▲Peace Now! のポロシャツ



▲感想を全体発表する参加者



▲事務提起をする事務局次長の柴田君



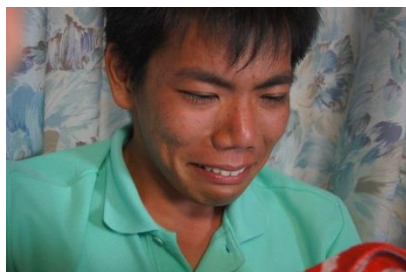
▲実行委員の渾身のボケを見て笑う参加者



▲北谷の観覧車の前でシーサーポーズ



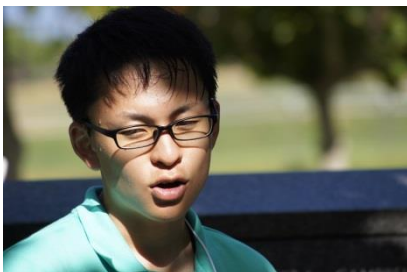
▲アイスブレイキングの様子



▲感極まって涙する実行委員



▲ガイドを真剣に聞く参加者



▲平和の礎でガイドする実行委員



▲委員長セミナーで集まった折鶴も奉納しました



▲運営メンバーの集合写真📷

たくさんのご参加、本当にありがとうございました。

このセミナーでの学びを、少しずつでもみんなで広めていきましょう！

Peace Now! OKINAWA 2017 実行委員会

【実行委員長】清水 竜

【企画局長】當間 望美

【事務局長】柴田 昌樹

【実行委員】石垣 望実、糸数 奈美子、井上亜美、永徳 大輝、大村 萌、嘉手納匠助、川崎 宇温、佐事 茉季、宮良 海妃、安井大幸

【お問い合わせ先】

Peace Now! OKINAWA 2017 実行委員長
清水 竜

〒166-8532 東京都杉並区和田3-30-22

TEL : (03)5307-1124 FAX : (03)5307-1180

Mail : shimizu.ryu@fc.univcoop.or.jp